

令和7年(1月～11月)労働災害の発生状況

※労働者死傷病報告(休業4日以上死傷災害)により作成

※()内の数値は死亡者数(内数)を表す

※新型コロナウイルス感染症のり患者数を除く

(1)業種別の労働災害発生状況(対前年比)

[表1 業種別の労働災害発生状況]

西脇労働基準監督署

業 種		令和7年(1月～11月)		前 年 同 期		前 年 比 較	
		死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
全 産 業		234 (1)	100.0% (100.0%)	240 (2)	100.0% (100.0%)	-6 (-1)	-2.5% (-50.0%)
第一・二次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 含 む)		141	60.3% ()	155 (2)	64.6% (100.0%)	-14 (-2)	-9.0% (-100.0%)
製 造 業		78	33.3% ()	89	37.1% ()	-11 ()	-12.4% (-)
鉱 業		1	0.4% ()	1	0.4% ()	()	(-)
建 設 業		15	6.4% ()	20 (1)	8.3% (50.0%)	-5 (-1)	-25.0% (-100.0%)
運 輸 交 通 業		35	15.0% ()	28 (1)	11.7% (50.0%)	7 (-1)	25.0% (-100.0%)
貨 物 取 扱 業		2	0.9% ()	6	2.5% ()	-4 ()	-66.7% (-)
農 林 業		7	3.0% ()	10	4.2% ()	-3 ()	-30.0% (-)
畜 産 ・ 水 産 業		3	1.3% ()	1	0.4% ()	2 ()	200.0% (-)
第三産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 除 く)		93 (1)	39.7% (100.0%)	85	35.4% ()	8 (1)	9.4% (-)
商 業	卸 売 業	5	2.1% ()	4	1.7% ()	1 ()	25.0% (-)
	小 売 業	14	6.0% ()	14	5.8% ()	()	(-)
	上 記 以 外 の 商 業	4	1.7% ()	4	1.7% ()	()	(-)
	計	23	9.8% ()	22	9.2% ()	1 ()	4.5% (-)
通 信 業		1	0.4% ()	8	3.3% ()	-7 ()	-87.5% (-)
保 健 衛 生 業	医 療 保 健 業	6	2.6% ()	9	3.8% ()	-3 ()	-33.3% (-)
	社 会 福 祉 施 設	17	7.3% ()	12	5.0% ()	5 ()	41.7% (-)
	上記以外の保健衛生業		()		()	()	- (-)
	計	23	9.8% ()	21	8.8% ()	2 ()	9.5% (-)
接 客 娯 楽 業	飲 食 店	11	4.7% ()	2	0.8% ()	9 ()	450.0% (-)
	ゴ ル フ 場	10	4.3% ()	11	4.6% ()	-1 ()	-9.1% (-)
	上記以外の接客娯楽業	10	4.3% ()	6	2.5% ()	4 ()	66.7% (-)
	計	31	13.2% ()	19	7.9% ()	12 ()	63.2% (-)
清 掃 ・ と 畜 業	ビルメンテナンス業	1	0.4% ()		()	1 ()	- (-)
	廃 棄 物 処 理 業	7	3.0% ()	1	0.4% ()	6 ()	600.0% (-)
	上記以外の清掃・と畜業		()		()	()	- (-)
	計	8	3.4% ()	1	0.4% ()	7 ()	700.0% (-)
そ の 他 の 事 業	警 備 業	2 (1)	0.9% (100.0%)	1	0.4% ()	1 (1)	100.0% (-)
	上記以外のその他の事業	2	0.9% ()	6	2.5% ()	-4 ()	-66.7% (-)
	計	4 (1)	1.7% (100.0%)	7	2.9% ()	-3 (1)	-42.9% (-)
金 融 広 告 業		1	0.4% ()	1	0.4% ()	()	(-)
映 画 演 劇 業			()		()	()	- (-)
教 育 研 究 業			()	5	2.1% ()	-5 ()	-100.0% (-)
官 公 署		2	0.9% ()	1	0.4% ()	1 ()	100.0% (-)
(陸上貨物運送業)		35	15.0%	34 (1)	14.2% 50.0%	1 (-1)	75.0% (-)

注 第三次産業は通常、非工業的業種に運輸交通業、貨物取扱業を加えたものをいいますが、ここでは、非工業的業種の一〇業種(商業、通信業、保健衛生業、接客娯楽業、清掃・と畜業、その他の事業、金融広告業、映画演劇業、教育研究業、官公署)を第三次産業と呼んでいます。